

参加者募集



既に活動は始まっていますが、まだ募集をしている教室があります。
一度、体験もできます。お問い合わせはクラブ事務局まで。
050-8012-4788(平日13時から17時まで)
*教室会員になるためには、同時にクラブ会員の登録が必要です。
高校生以上2,000円/年 中学生以下1,000円/年



ほっぷくらぶ

対 象：3、4歳児と
その保護者
活動日：月曜日
時 間：10:00～11:30
場 所：滑川市民体育館
会 費：10,000円/半期
(分割払い可)
募集人数：10組

すてっぷくらぶ

対 象：5、6歳児と
その保護者
活動日：木曜日
時 間：15:00～16:30
場 所：滑川市民体育館
会 費：10,000円/半期
(分割払い可)
募集人数：10組

キッズクラブ2

対 象：小学1年生
活動日：月曜日
時 間：15:00～16:30
場 所：滑川市民体育館
会 費：12,000円/半期
(分割払い可)
募集人数：10人

土っこ日記

5月18日に第1回目の土っこくらぶ
を行いました。ナス・きゅうり・とう
もろこしの苗を植えました。収穫する
のが楽しみです！



早く大きくなあれ！

平成25年度 通常総会 開催しました！(4/27)

「平成24年度決算と平成25年度予算」について<報告>

平成24年度決算書

収入	22,003,404円		
支出	21,821,695円		
差引残高	181,709円		(平成25年度へ繰り越し)
費目	決算(A)	予算(B)	差引(A)-(B)
年会費	715,500	655,500	60,000
教室会費	10,643,750	10,534,000	109,750
イベント参加費	1,379,334	1,090,000	289,334
補助金・助成金	8,892,879	8,596,000	296,879
繰越金	295,864	295,864	0
雑収入	76,077	98,636	△ 22,559
合計	22,003,404	21,270,000	733,404

支出

費目	決算(A)	予算(B)	差引(A)-(B)
諸謝金	10,151,520	8,855,500	1,296,020
旅費	40,200	205,000	△ 164,800
借損料	993,413	785,000	208,413
印刷製本費	368,800	426,000	△ 57,200
スポーツ用具費	307,502	968,400	△ 660,898
消耗品費	736,149	476,000	260,149
会議費	0	20,000	△ 20,000
通信運搬費	200,605	182,000	18,605
賃金	4,596,000	4,596,000	0
雑役務費	280,830	109,000	171,830
負担金	26,225	14,000	12,225
キャンプ等	1,337,685	1,075,000	262,685
保険料	641,911	465,000	176,911
基金積立	2,000,000	2,950,000	△ 950,000
予備費	140,855	143,100	△ 2,245
合計	21,821,695	21,270,000	551,695

平成25年度 予算書

費目	H25予算	H24予算	増減	摘要
年会費	715,000	655,500	59,500	大人2,000円 中学生以下1,000円
教室会費	11,664,000	10,534,000	1,130,000	
イベント参加費	1,475,000	1,090,000	385,000	キャンプ、スキー
補助金・助成金	8,875,000	8,596,000	279,000	日本スポーツ振興セン ター、子ども夢基金
繰越金	181,709	295,864	△ 114,155	
雑収入	89,291	98,636	△ 9,345	預金利息 保険金返戻
合計	23,000,000	21,270,000	1,730,000	

支出

費目	H25予算	H24予算	増減	摘要
諸謝金	9,811,720	8,855,500	956,220	指導者謝金 講演会謝金
旅費	200,000	205,000	△ 5,000	研修会参加費
借損料	780,000	785,000	△ 5,000	テニスコート 体育館使用料
印刷製本費	380,000	426,000	△ 46,000	広報紙 募集チラシ発行費
スポーツ用具費	500,000	968,400	△ 468,400	各教室運営用 スポーツ用具費
消耗品費	600,000	476,000	124,000	各教室消耗品及び 事務用品等
会議費	10,000	20,000	△ 10,000	視察等茶菓代
通信運搬費	250,000	182,000	68,000	電話代、メール・イン ターネット使用料等
賃金	4,596,000	4,596,000	0	事務局スタッフ・ マネージャー賃金
雑役務費	160,000	109,000	51,000	HPコンテンツ作成等
負担金	14,000	14,000	0	各協会等 加盟負担金
キャンプ負担金	1,704,000	1,075,000	629,000	キャンプ、スキー
保険料	650,000	465,000	185,000	傷害保険加入等
委託料	600,000	0	600,000	確定申告 財務諸表作成委託
基金積立金	2,500,000	2,950,000	△ 450,000	
予備費	244,280	143,100	101,180	
合計	23,000,000	21,270,000	1,730,000	

総合型地域スポーツクラブ
滑川ファミリースポーツクラブ

2013.6.20 No.4 O

namekawaclub060423@net1.wvay.ne.jp

笑顔

〒7-0051 立市滑川本町1-21-1
日立市滑川交流センター内
滑川ファミリースポーツクラブ広報部
TEL&FAX 050-8012-4788
http://www.namekawaclub.jp



室内遊び・ゲーム遊び卒業
体を動かす屋外遊び

大好き人間にハズリ！



いっやるの...?

複合スポーツ教室 キッズクラブ1

クラブの事業運営の一つの大きな軸に3才頃から10才位までの子ども達に身体を動かす各種運動スポーツを行う教室を据えています。前回紹介した親子体操(ほっぷくらぶ、すてっぷくらぶ)に引き続き、今回は複合スポーツに興じている子ども達の活動状況紹介です。

実は運動神経の発達は、3才頃から10才位までに90%成長してしまうそうなんです。小さい時に色々な運動・スポーツをすることが大事ってことなんです。

複合スポーツ教室に遊びに来て！待ってるよ。

目次

- P.1 教室紹介(キッズクラブ1)
- P.2～3 クラブのあしあと・クラブのこれから
- P.4 教室募集、土っこ日記、平成24年度決算と平成25年度予算



クラブのあしあと・クラブのこれから



滑川ファミリースポーツクラブを設立し、今年で8年目を迎えることができました。設立準備期間も含めると10年目、節目に立っています。これまでのクラブを振り返り、これからの新たなステップに向けて、クラブに対する想いをスタッフのみなさんに語っていただきました。



滑川地区に住んでいる人は、生活の中にスポーツや文化があることが普通であること。気がつけば、住んでいる人が、みんな元気。その中にあるのが『滑川ファミリースポーツクラブ』。そんなクラブであつたらいいと思います。
沼田 充弘



私の思い描いている未来像は、小さいお子さんやお年寄りの方などが誰でも気軽にスポーツやイベントを楽しみながら地域に生活する皆さんのコミュニケーションの中心の場となれるようなクラブです。スポーツやイベントなどを通して子供達の生き生きとした育成に役立つようなクラブになって欲しいと願います。
増子 義一



滑川地域も10年前とは変り、最近では子供の人数も減り、共働きの家庭が増えました。そんな中で親子体操を続ける事は難しくなっているのかな・・・と思っています。
ひとり、ぼんやり思うこと・・・

1. 幼稚園児の親子を園児だけの体操教室にする
2. 学童保育のような教室
3. 夏休みのプール遊び
4. 料理教室

小田倉 洋子

人々が集い、笑顔があふれ、海・山を望む日本で一番のスポーツクラブ。
永山 堯康



『一日も早くクラブハウスを作り、会員、指導者、スタッフがいつでも笑顔で交流できる環境を確保し』そして、『日々の活動がまちづくりに直結していることを実感できるクラブにしたいです!』
清水 透

清水 透



会員・指導者・役員スタッフが、お互いの意見に耳を傾け、クラブの名の通り、家族のような笑顔で元気いっぱいのクラブにしていきたい。
永盛 喜代美

永盛 喜代美

これからのクラブは、クラブの拠点・施設があり、自らスポーツをしたり、クラブの選手やチームを応援したり、またはトップ(プロ)選手の試合を観戦したりして競技力の向上を図ったり、日常会話で常に話題になるような身近に感じられるようになればいいなと思います。
磯野 修久

磯野 修久

節目の10年
会員はクラブ運営を意識し、役員は会員の状況や自分自身の参加を意識する事が大事とされます。クラブが有って自分も要る事を自覚し明日の事を考える。皆さんがその意識を持てばこれからのクラブ運営は、良い方向に向くのではないのでしょうか。
永盛 常雄

永盛 常雄

これまで進んできた方針、運営方法はまちがっていないと信じております。今後はNPO法人格を取得し、公的な仕事も出来る団体として発展していきたいと思います。
木村 統

木村 統

我がクラブも老若男女楽しめるクラブとして定着したように思います。生涯にわたり、スポーツを通して生まれる交流や連帯感だったり心身ともに健康で豊かな生活がおくれるよう、そんな将来を想像しています。
石井 啓子

石井 啓子

会員同士がお互い心から楽しめ、地域の活性化を図りながら、健康で生きがいのある夢のクラブを目指す。
遠藤 一男

遠藤 一男

年代に応じたスポーツを取り入れ、楽しみ、喜んで、長く続けることが出来るクラブでありたい。事務所がせますぎるのでは?
高安 一夫

高安 一夫



みなさんのアイデア 大歓迎!

こんなことをやってみたいと思うことがあったらどうぞ事務所までお寄せください。

050-8012-4788(平日13時~17時まで)